

# EVENTS

## ◎講演会

### 「三溪の茶と美」

日時：7月21日(日) 14:00～15:30 (15:30開場)  
 講師：千宗屋(武者小路千家家元後嗣、美術史家)  
 会場：横浜美術館レクチャーホール  
 定員：220名(事前申込、先着順) 参加費：無料

## ◎レクチャーと鼎談

### 「三溪の古美術収集と美術家支援 —三溪史料研究の現在」(仮題)

日時：7月20日(土) 14:00～16:00 (15:30開場)  
 講師：清水 緑(渋谷区立松濤美術館学芸員、元三溪園学芸員)  
 三上 美和(京都造形芸術大学准教授、『原三溪と日本近代美術』著者)  
 聞き手：内山淳子(横浜美術館主任学芸員)  
 会場：横浜美術館円形フォーラム  
 定員：100名(当日整理券配布) 参加費：無料

## ◎学芸員によるギャラリートーク

日時：7月26日(金)、8月16日(金) 18:30～19:00  
 8月12日(月・休)、8月17日(土) 14:00～14:50  
 会場：企画展示室  
 参加費：無料(事前申込不要、当日有効の本展観覧券が必要)

その他のイベントや申込方法、オリジナルグッズなどの情報は  
 展覧会公式サイトをご覧ください。

## ◎観覧料

一般 1,600 (1,400 / 1,500) 円  
 大学・高校生 1,200 (1,000 / 1,100) 円  
 中学生 600 (400 / 500) 円

## 早割ペア券 2枚1セット 2,200円

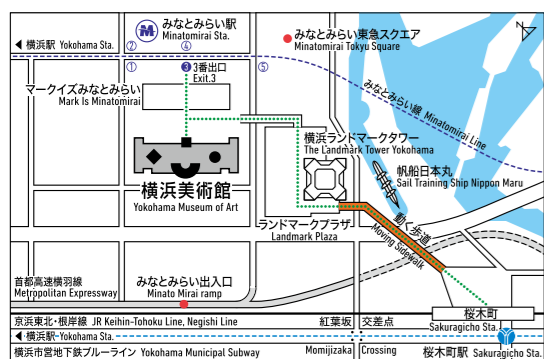
販売期間：2019年4月8日(月)～5月12日(日) ※お1人で2枚の使用も可

※小学生以下無料 ※65歳以上の当日料金は1,500円(要証明書、美術館券売所でのみ販売) ※( )内は前売/有料20名以上の団体料金(要事前予約、美術館券売所でのみ販売) ※毎週土曜日は高校生以下無料(要生徒手帳、学生証) ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料 ※観覧当日は限り本展の観覧券で「横浜美術館コレクション展」も観覧可 ※その他の割引料金については別途お問い合わせください。  
 前売券販売期間：2019年5月15日(月)～7月12日(金)

## ◎チケット取扱い

横浜美術館(前売りはミュージアムショップ)/展覧会公式サイト/  
 チケットぴあ、ローソンチケット、セブンチケット、イーブラスほか主要プレイガイド

横浜美術館開館30周年記念 オランジュリー美術館コレクション  
 ルノワールとパリに恋した12人の画家たち  
 2019年9月21日(土)～2020年1月15日(月・祝)



アクセス みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅3番出口から徒歩3分/JR、横浜市営地下鉄「桜木町」駅から「動く歩道」を利用、徒歩10分  
 Access 3 minutes walk from Minatomirai Station (Exit 3, The Minatomirai Line links with the Tokyo Toyoko Line) / 10 minutes walk via moving sidewalk from Sakuragicho Station (JR, Yokohama Municipal Subway)

横浜美術館 YOKOHAMA MUSEUM OF ART  
 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1  
 3-4-1 Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, JAPAN  
 TEL: 045-221-0300(代) FAX: 045-221-0317  
 https://yokohama.art.museum

三溪園の夏の風景 提供:三溪園



# 三溪園への いざない

横浜・本牧の三溪園には、三溪が京都や鎌倉などから移築した古建築や、三溪の構想による茶室などの歴史的建造物が配され、四季の自然との見事な調和を見せています。三溪の美意識の結晶である三溪園を、ぜひ本展とあわせてお訪ねください。

## 三溪園との相互割引

※他の割引と併用不可

本展会期中に限り、三溪園との相互割引を実施!  
 本展のチケット提示で三溪園の当日入園料が100円割引、三溪園の入園チケット提示で本展の当日観覧料が500円割引となります。



三溪が大正6年に益田鈍翁らを招き、初めての茶会を催した蓮華院  
 提供:三溪園



戦前の三溪園大池沿いの園路  
 提供:三溪園

## 原三溪市民研究会との連携事業

展示「もっと知ろう! 原三溪  
 —原三溪市民研究会10年の足跡—」  
 実業家、文化人としての両面から、三溪の全体像に迫るパネル展示です。  
 8月3日(土)～9月1日(日) 11:00～16:00  
 横浜美術館アートギャラリー1

## シンポジウム「原三溪の漢詩の世界」

基調講演：鄧捷(関東学院大学教授)  
 フリートーク：原三溪市民研究会・漢詩部会  
 8月10日(土) 14:00～16:00 (15:30開場)  
 横浜美術館レクチャーホール  
 定員：220名(当日整理券配布) 参加費：無料

国宝  
 《孔雀明王像》  
 7/13→8/7  
 期間限定出品!

2019 7/13 SAT. → 9/1 SUN.

横浜美術館  
 YOKOHAMA MUSEUM OF ART



横浜美術館30周年

開館時間：10:00～18:00、毎週金曜・土曜は20:00まで開館 ※入館は閉館の50分前まで 休館日：毎週木曜日 ※一部、展示期間が限定される作品がございます  
 Open Hours: 10:00-18:00 Closed on Thursdays (Open until 20:00 on Fridays and Saturdays) \*Admission until 50 minutes before closing.  
 [主催] 横浜美術館、日本経済新聞社 [特別協力] 公益財団法人三溪園保勝会、大和文華館、原三溪市民研究会 [協力] みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社  
 ◎お問合せ：横浜美術館 Tel. 045 221 0500 展覧会公式サイト https://harasankei2019.exhn.jp/ 国宝《孔雀明王像》(部分) 平安時代後期(12世紀) 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives

幻の至宝、  
 横浜に  
 里帰り

Commemorating the 50th Anniversary of the Yokohama Museum of Art,  
 the 150th Anniversary of the Collector's Birth and the 80th Anniversary of His Death

横浜美術館開館30周年記念  
 生誕150年・没後80年記念

# 原三溪

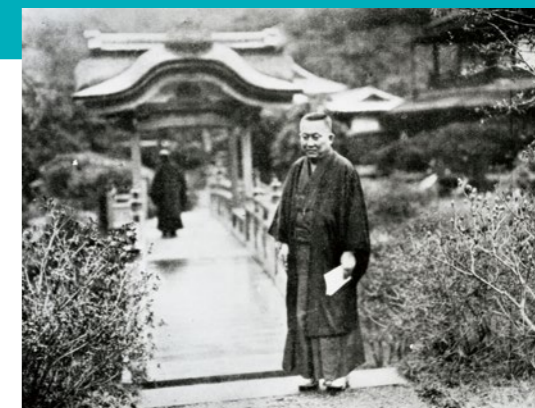
伝説の大コレクション

# の美術

The Eye of a Connoisseur:  
 The Legendary Hara Sankei Collection

# アーティスト

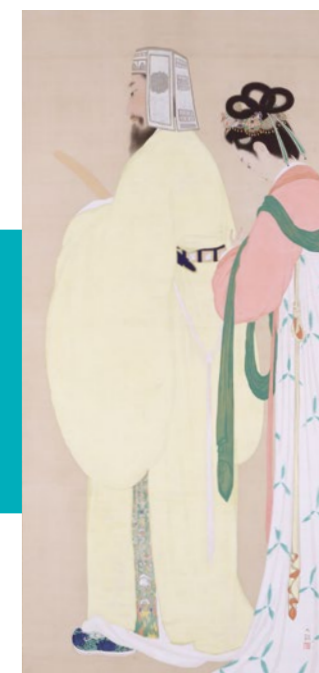
## 余技の域を超えた書画 理想美としての三溪園



三溪園内苑完成記念の茶会・大師会当日の三溪  
大正12(1923)年4月、提供：三溪園



原三溪《白蓮》  
昭和6(1931)年、絹本淡彩・一幅  
128.0×41.6cm



横山大観《游刃有余地》  
大正3(1914)年、絹本着色・双幅、各187.8×86.3cm  
東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives  
【展示期間：7月13日～24日】

伎楽面(迦楼羅)  
奈良時代(8世紀)、木造(桐)彩色・一面  
高39.1・幅21.2・奥行27.3cm  
MIHO MUSEUM蔵 撮影：畠山 崇

重要文化財

三溪が最も寵愛した  
同時代の画家・観山が  
描いた近代絵画の白眉

下村観山《弱法師》  
大正4(1915)年、絹本金地着色・六曲一双、各186.4×406.0cm  
東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives  
【展示期間：8月9日～9月1日】

## 敬意と慈愛に満ちた 美術家支援

# パトロン

本展は、稀代の実業家・原三溪の、芸術にかかわる四つの側面、すなわち「コレクター」「茶人」「アーティスト」「パトロン」としての業績に焦点を当てます。今日、国宝や重要文化財に指定される名品25件以上を含む三溪旧蔵の美術品や茶道具約150件と、三溪自筆の買入覚などの資料を展覧することによって、三溪の文化人としての全体像を描きだします。三溪自身も一堂に観ることができなかった旧蔵の名品を、過去最大規模で展覧する貴重な機会となります。

※一部、展示期間が限定される作品がございます。



提供：三溪園

## 原三溪

慶応4(1868) - 昭和14(1939)  
本名・富太郎。生糸貿易で財を成した実業家、古美術コレクター、茶人、そして近代日本美術を支えたパトロン。横浜の広大な土地に「三溪園」を造園し、また自らも書画をよくしたアーティストであった。三溪園を市民に無料で開放し、また関東大震災後は私財を投じ横浜の復興に尽すなど、社会貢献の精神をいち早く実践。実業、文化の両面で、近代日本の発展に大きな影響を及ぼした。



# ぜんぶ名品。



ねぞめものがたりえまき  
《寝覚物語絵巻》(部分)  
平安時代後期(12世紀)、紙本着色・一巻  
26.0×533.0cm、大和文華館蔵  
【展示期間：8月9日～9月1日】

国宝

## 尾形光琳 《伊勢物語図 武蔵野・河内越》

江戸時代(18世紀)、紙本着色・双幅  
各118.0×49.2cm、MOA美術館蔵



重要文化財

ほんあみごうえつ  
伝本阿弥光悦  
《沃懸地青貝金貝蒔絵群鹿文笛筒》  
江戸時代初期(17世紀)、木製漆塗・一本、長39.6・径3.3cm  
大和文華館蔵 【展示期間：8月9日～9月1日】



光悦に  
深く傾倒し、  
琳派の価値を  
いち早く  
見出した三溪

## 杉木晋齋《竹茶杓 銘 亀》

江戸時代(17世紀)、竹・一本、長18.2cm  
東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives



## 《志野茶碗 銘 梅が香》

桃山時代(16世紀末～17世紀初期)、陶器・一口  
高8.3・口径13.5・底径3.8cm、五島美術館蔵  
撮影：名鏡勝朗 【展示期間：7月13日～8月7日】



関東大震災後  
初の茶会で  
使用された、  
三溪愛用の茶碗

## 自由闊達な茶の境地を 拓いた数寄者

## 5,000点を超える 至宝を集めた、驚異の目利き

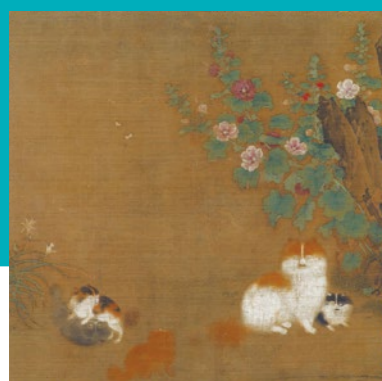


井上馨・元大蔵大臣から  
桁外れの高額で購入。  
コレクター三溪の名を  
知らしめた、平安仏画の傑作

国宝

## 《孔雀明王像》

平安時代後期(12世紀)、絹本着色・一幅  
147.9×98.9cm 東京国立博物館蔵  
Image: TNM Image Archives  
【展示期間：7月13日～8月7日】



重要文化財

でんもうえきしよきゆうびりやうず  
伝毛益《蜀葵遊猫図》  
中国・南宋時代(12世紀)、絹本着色・一幅  
25.3×25.8cm、大和文華館蔵  
【展示期間：7月13日～8月7日】

# 茶人